

2022年度 第77回国民体育大会 栃木県予選会 大会要項

1. 大会名：第77回国民体育大会ライフル射撃競技会栃木県予選会

2. 主 催：栃木県教育委員会・栃木県スポーツ協会・栃木県ライフルスポーツ射撃協会

3. 主 管：栃木県ライフルスポーツ射撃協会

4. 期 日：【50m・10m 競技】

第1回目： 2022年 4月10日（日） 会場：栃木県ライフル射撃場

第2回目： 2022年 4月24日（日） 会場：栃木県ライフル射撃場

第3回目： 2022年 5月15日（日） 会場：栃木県ライフル射撃場

補 予 備 日： 2022年 6月 5日（日） 会場：栃木県ライフル射撃場

※予備日(補)は、予選3回の成績により代表選手を選考するが3回目終了時点で
規定の参加回数に満たなかった選手に対する補足予選会とする。

【CFP 競技】

警察学校 射撃場（別途）

【ジュニア10m 競技】【ジュニアBR/BP 競技】

第1回目： 2022年 4月23日（土）[AR・BP] 会場：真岡北陵ライフル射撃場

2022年 4月24日（日）[BR] 会場： //

第2回目： 2022年 5月 7日（土）[AR・BP] 会場：真岡北陵ライフル射撃場

2022年 5月 8日（日）[BR] 会場： //

第3回目： 2022年 5月28日（土）[AR・BP] 会場：真岡北陵ライフル射撃場

2022年 5月29日（日）[BR] 会場： //

救済：勤務等で予選会に参加できない選手、また各予選会と同日に開催される中央競技会等に参加する選手(ふるさと選手含む)は、予め強化部へ連絡の上別途競技会の記録を予選会の成績とすることができる。その際、どの競技会に参加するか事前に文書・メール等で強化部へ申告し、承認を得ること。

また、栃ラ予選会の記録登録料（500円）を納める事。

※ 12. 選手選考 ④ ⑤ ⑥ 参照

【選手選考期間】：4月10日から予備日(6月5日)までの間とする。

5. 会 場：栃木県ライフル射撃場（宇都宮市新里町乙1067）

栃木県警察学校射撃場（宇都宮市若草2丁目3-3-76）

栃木県立真岡北陵高等学校ライフル射撃場（真岡市下籠谷396番地） 他

6. 時 間：集合 9:00 受付 9:00 ～ 9:25 競技開始 10:00 ～ (ATL 9:30)

※ 事前申し込み選手数および、当日の集合状況、参加希望種目によって、
射群調整等により、開始・終了時間は変動することがあります。

7. 種 目：以下の通りとする（〔 〕内の点数は、基準点）。

①FR3×20 [572点]	②R3×20 [568点]	③FR60PR [616.0点]
④AP60 [558点]	⑤AP60W [550点]	⑥AR60 [615.0点]
⑦AR60W [615.0点]	⑧AR60J [612.0点]	⑨AR60WJ [612.0点]
⑩BR60J [625.0点]	⑪BR60WJ [625.0点]	⑫BP60J [545点]
⑬BP60WJ [545点]	⑭CFP60 [570点]	ストレート種目
※今年度は、本国体が本県開催のため、全ての種目がストレートとなる。		

8. 競技規則：各種目ともに、日本公式ライフル射撃競技規則最新版を適用する。

9. 参加資格：①現在、公安委員会の許可を受けて銃砲を所持している下記の者

(但し、ビームライフル射撃競技に参加する者はその限りではない)

②栃木県内に住所又は勤務している者

③大学を除く学校教育第1条に規定する学校の生徒

④大学生にあっては、栃木県内の高等学校の卒業生（ふるさと選手）

⑤その他、第77回国民体育大会ライフル射撃競技実施要項による

10. 参加申込：運営上、**7日前迄**に事務局まで申し込みください。

※郵送かメール又はFAXにてお願いします。

Mail : base-gf@tochi-ra.jp

Fax : 028-636-9917

11. 参 加 料：各種目の参加料ならびに振込先は、下記の通りとする。

SBR=3,000円 AR[成年]/AP=2,500円 AR[少年]=1,500円

BR/BP[ジュニア]=1,000円 CFP=1,000円

予備日説明内容のとおり、成績登録料は500円

【注】：必ず、重複する競技会の前に申告し承認を得ること。後提出は無効。

<参加料振込先>

郵便振替口座番号

00190-1-149399

名 義

栃ラ競技部会

12. 選手選考：①成年・ジュニアとも、上記基準点をクリアした選手に1ポイントを与え、ポイントの多い選手を国体代表候補選手とする。

②各種目とも3回の予選会において、同種目で同ポイント及び誰もポイントを取得できなかった場合は、強化部に於いて関ブロ及び国体の代表候補選手を選考する。

③ジュニア選手の選考については、予選成績の他に県外大会の成績等も参考にする。

④各種目とも3回の予選会に参加する事。但し、事故・病気入院・会社勤務等の都合上、

やむを得ない事情により規定回数に満たない選手は、予備日の記録を充当する事ができる。

⑤予選日が、県外大会と重なる場合、又職務都合等により予備日を充てても規定回数に満たない事が予想される選手は、事前にどの競技会に出場するかを強化部長へ申告し、承認を得る事で、その成績を予選会の成績とする事ができる。

⑥ ⑤ に該当する競技会は、本予選会、中央大会と同等のG4以上の競技会を指す。

Ⅰ 3. 強化選手：予選会・予備日終了後に、〔Ⅰ2.選手選考〕の内容をもとに、今年度の国体強化選手を決定し、後日各会員並びに選手に通知発表する。

Ⅰ 4. そ の 他：①銃器弾薬の携帯・運搬・保管等については、各自十分に注意する。

②選手は、銃砲所持許可証及び射手手帳を必ず持参する。

③公認審判員は、是非とも役員としてお手伝い方お願いします。

④参加選手は、各自ゼッケン（A4）を必ず着用すること

⑤各自、体調に留意し、感染症対策等を確実に実行する事。